

第6章 化学物質の状況

1. ダイオキシン類調査

天理市内においては、ダイオキシン類による汚染状況や環境基準の達成状況を把握するために、ダイオキシン類対策特別措置法の規定に基づき奈良県が大気、土壌の環境調査を行っている。

直近年度の調査結果は表 6-1 のとおりであり、すべての調査地点で環境基準を達成している。

ただし、土壌の環境調査に関しては市内では平成 26 年度の調査が最新であるため、その結果を記載する(後述)。

表 6-1 ダイオキシン類常時監視調査結果 (大気 令和 2 年度、土壌 26 年度)

調査対象	区分	測定地点数	評価	測定結果				環境基準
				最低値	最高値	平均値	単位	
大気	一般環境	1	◎	0.010	0.030	0.020	pg-TEQ/m ³	0.6pg-TEQ/m ³ 以下
土壌	一般環境	2	◎	2.3	5.0	3.7	pg-TEQ/g	1,000pg-TEQ/g以下
	発生源周辺	1	◎	-	-	0.0065		

(評価) ◎：全測定地点で環境基準を達成している。

△：一部の測定地点で環境基準を達成している。

×：全測定地点で環境基準を達成していない。

(1) 大気

令和 2 年度において、奈良県が行った大気汚染に係るダイオキシン類の調査結果は表 6-2 のとおり。測定した 1 か所において、環境基準を達成している。

表 6-2 大気中のダイオキシン類調査結果 (令和 2 年度)

調査地点				測定結果 (pg-TEQ/m ³)				備考
地点名	所在地	時期	採取日	PCDF	PCDD	DL-PCB	ダイオキシン類	
天理局	天理市 丹波市町	夏期	R2. 7. 28~8. 4	0.0051	0.0038	0.0019	0.0109	一般 環境
		冬期	R3. 1. 26~2. 2	0.0106	0.0192	0.0009	0.0308	

(環境基準) 0.6pg-TEQ/m³以下

(2) 土壌(参考:平成 26 年度)

土壌の調査については、同一市内での調査は約 10 年ごとであり、前回の本市における調査は平成 26 年度であった。

平成 26 年度の土壌に係るダイオキシン類の調査は 3 地点で行った。調査結果は表 6-3 のとおり、環境基準を達成している。

表 6-3 土壌に係るダイオキシン類調査結果 (平成 26 年度)

調査地点		測定結果 (pg-TEQ/g)			
地点名	区分	PCDF	PCDD	Co-PCB	ダイオキシン類
田井庄町	一般環境	2.2	2.3	0.55	5.0
柳本町		0.93	1.3	0.092	2.3
西井戸堂町	発生源周辺	0.0	0.0059	0.00068	0.0065

(環境基準) 1,000pg-TEQ/g以下